

# 高齢者施設30以上 被害状況わからず

## DMAIT95隊が支援

能登半島地震について、厚生労働省は4日、4回目の災害対策本部会議を開き、同日時点の被害

状況を公表した。被災地では、32の高齢者施設と連絡がとれず被害状況がわからないとしており、引き続き調べる方針。また災害派遣医療チーム(DMAIT)95隊が入り、患者の治療や搬送支援をしているとした。報告によると、石川、

富山、新潟3県の計132の高齢者施設で、断水や建物損傷などの被害がある。被害のあった施設の高齢者らはほかの施設に避難し、けが人などは確認されていない。障害者施設では、石川県内の4施設で停電が続き、21施設は断水している。

ただ4日夕時点で石川県内32の高齢者施設、4障害者施設と連絡がとれず、同省は「中には廃業している施設もあるとみられ、必ずしも危険な状態にあるわけではない。県などと協力して全ての施設の状況を聞き取っていく」(担当)としている。(後藤一也、神宮司実玲)